

ソフトウェア・シンポジウム 2014

～技術革新～

場所：(本会議) 秋田市にぎわい交流館 AU
主催：ソフトウェア技術者協会 (SEA)



6/9 (月曜日)	6/10 (火曜日)	6/11 (水曜日)
6/8 (日曜日) 併設イベント Serendipity 2 (幸運な発見) ～Serendipity Across Space～ [秋田市民交流プラザ (アルヴェ)]	9:00 ～ 14:00 [3ページ目参照] ※4 ワーキンググループ (複数のワーキンググループでの議論)	9:00 ～ 11:30 [3ページ目参照] ※6 ワーキンググループ (複数のワーキンググループでの議論でもよい)
12:00 ～ 13:00 受付 [ホワイエ 付近]		
13:00 ～ 13:15 [多目的ホール] オープニング		13:00 ～ 14:00 [多目的ホール] ワーキンググループまとめ発表会
13:15 ～ 14:45 [多目的ホール] オープニングキーノート 「VR 技術を活用した民俗芸能の舞踊の 伝承技術」 東北公益文科大学 公益学部長兼大学院研究科長 玉本 英夫氏	14:30 ～ 15:50 [多目的ホール] ※5 論文・報告発表会 セッション 1	14:15 ～ 15:45 [多目的ホール] クロージングキーノート 「災害コミュニケーションとビックデータの 可能性」 さくらインターネット さくらインターネット研究所 上級研究員 松本 直人氏
15:15 ～ 18:30 [3ページ目参照] ※1 ワーキンググループ	16:00 ～ 17:30 [多目的ホール] 論文・報告発表会 セッション 2	15:45 ～ 16:00 [多目的ホール] クロージング
	17:40 ～ 18:25 論文・報告発表会 セッション 3 3-1 [多目的ホール] , 3-2 [研修室1]	
18:30 ～ 19:00 移動 ※2	18:25 ～ 19:00 論文・報告発表会 セッション 4 4-1 [多目的ホール] , 4-2 [研修室1]	
19:00 ～ [無限堂 大町本店] ※3 情報交換会		

※1：上記の時間は会議室が利用できる時間帯を示しています。運営方法は WG ごとに異なります。
詳細は各 WG のリーダーまでお問い合わせください。
(2日目, 3日目はともに, 8:50に開場します。それより前には建物に入れません)

※2：1日目のWGは、遅くとも**18:30**には終了し、情報交換会の会場へ移動を開始してください。

※3：情報交換会の会場・席順については、最終ページをご覧ください。(受付時に決まったテーブルにご着席ください)

※4：2日目のWGは、遅くとも**14:00**には終了し、論文・報告発表会の会場へ移動を開始してください。

※5：論文・報告発表は、セッションにより発表時間が異なります。
セッション3-1と3-2, および4-1と4-2は並行して行います。どちらに参加していただいても構いません。

※6：3日目のWGは、複数のワーキンググループでの議論でも、各ワーキンググループでの議論でも構いません。
前日のWGにて、それぞれ決定してください。

論文・報告

◆ セッション 1：発表時間は 20 分 (10 分発表, 10 分討議). 6/10 (火曜日) 14:30 ~ 15:50

[09_研究論文] 「バグを混入・除去するソースコード差分の判定手法の提案」

山田 晃久, 水野 修 (京都工芸繊維大学)

[16_研究論文] 「手書きノートアプリケーションに用いられるメニューデザインの使用性の評価」

木谷 篤, 中谷 多哉子 (筑波大学)

[04_経験論文] 「開発者の特性を考慮した仕様記述ガイドラインによる形式手法導入事例」

明神 智之, 島袋 潤 (日立製作所), 長谷川 貴史, 廣納 幸治 (日立金属)

[01_経験論文] 「『組合せテスト向けの因子分類』を活用した SW 設計の革新」

秋山 浩一 (富士ゼロックス)

◆ セッション 2：発表時間は 30 分 (15 分発表, 15 分討議). 6/10 (火曜日) 16:00 ~ 17:30

[21_研究論文] 「形式的仕様スケッチのためのウェブベース開発環境 VDMPad」

小田 朋宏 (SRA), 荒木 啓二郎 (九州大学)

[17_研究論文] 「UML 図に対するソフトウェアオーバーホールを用いたレビュー手法の比較実験」

内田 眞司, 松井 真子 (奈良工業高等専門学校)

[14_経験論文] 「IT に現場力は存在するのか: その計測と評価の試み」

松尾谷 徹 (デバッグ工学研究所)

◆ セッション 3-1：発表時間は 15 分 (10 分発表, 5 分討議). 6/10 (火曜日) 17:40 ~ 18:25

[13_経験論文] 「ソフトウェア要求仕様記述ツール SLP の基本概念」

漆原 憲博, 塚田 良央, 五十嵐 育夫, 佐々木 千春, 岡本 圭史 (ジェーエフピー)

[15_研究論文] 「テスト情報分析に基づいた定量的ソフトウェア信頼性評価手法に関する一考察」

竹腰 祐輝, 岡村 寛之, 土肥 正 (広島大学)

[06_研究論文] 「運用プロファイルと報酬構造を考慮したテストケース生成法」

今富 政喜, 土肥 正 (広島大学)

◆ セッション 3-2：発表時間は 15 分 (10 分発表, 5 分討議). 6/10 (火曜日) 17:40 ~ 18:25

[03_経験論文] 「マフィアオファーを用いたシーズとニーズを繋ぐ技術提案 -XDDP 提案における事例-」

八木 将計, 小川 秀人 (日立製作所)

[20_事例報告] 「人を育て技術を実現するチーム力 ~9 年間の活動から得られた TIPS~」

増田 礼子 (フェリカネットワークス)

[07_経験論文] 「異業種への『KPT』の適用事例とその効果報告」

根本 紀之 (仙台ソフトウェアテスト勉強会)

◆ セッション 4-1：発表時間は 7 分 (5 分発表, 2 分討議). 6/10 (火曜日) 18:25 ~ 19:00

[02_事例報告] 「改良型ゴールモデルによる利用品質領域の可視化事例」

安達 賢二 (HBA)

[08_研究論文] 「GSN を拡張したゴール指向分析の AND 分解における妥当性確認手法の提案」

岡野 道太郎, 中谷 多哉子 (筑波大学)

[11_研究論文] 「識別子中の単語情報を用いた Fault-prone モジュール予測」

川島 尚己, 水野 修 (京都工芸繊維大学)

[22_研究論文] 「テストの実施履歴とテスト項目間の関連情報を利用した効果的なテスト削減方法の提案と評価」

小笠原 秀人, 佐々木 愛美, 中野 隆司 (東芝), 阿萬 裕久 (愛媛大学)

◆ セッション 4-2：発表時間は 7 分 (5 分発表, 2 分討議). 6/10 (火曜日) 18:25 ~ 19:00

[05_研究論文] 「テスト駆動開発を利用した実例による形式仕様記述の提案」

伊藤 淳, 圓通 聡 (NEC ソリューションイノベーション), 石川 冬樹 (国立情報学研究所)

[18_経験論文] 「形式仕様記述を用いたファイルシステム設計の検証」

嶋根 貴洋 (SCSK), 田処 将司 (DTS)

[10_研究論文] 「ソフトウェア開発ドキュメント匿名化ツールの試作とその評価」

江川 翔太, 岡野 浩三, 楠本 真二 (大阪大学)

[12_経験論文] 「秋田大学情報工学科における情報教育用計算機システム」

高谷 眞弓 (秋田大学)

[19_事例報告] 「仮設住宅のためのプリペイド型簡易商店システム」

西岡 大, 齊藤 信人, 寺澤 拓也, 市川 潤, 村山 優子 (岩手県立大学)

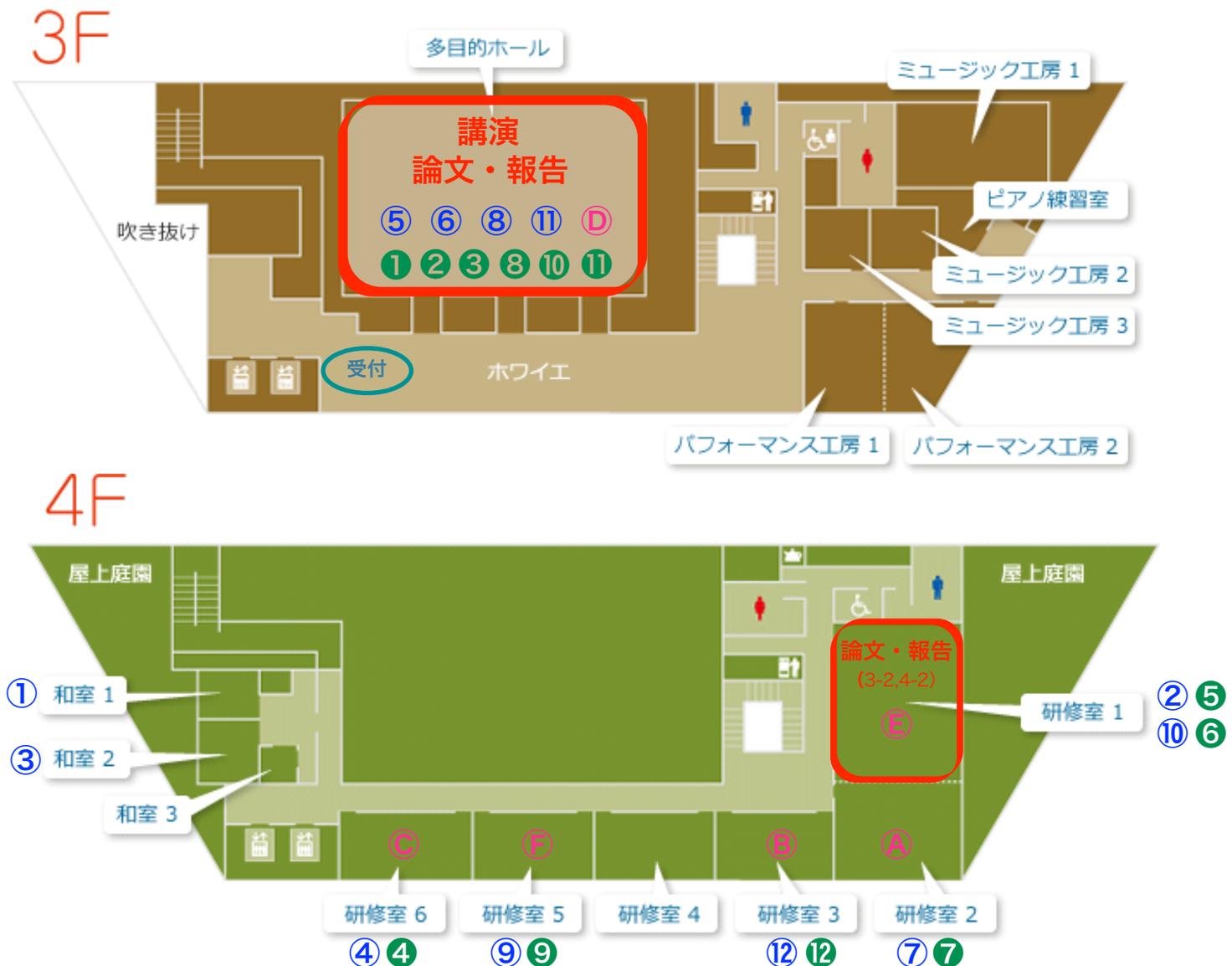
ワーキンググループ 1日目, 3日目

WG	種別	1日目	3日目	
WG1 : 「派生開発への取り組み」	: 塩辛	: [和室 1]	① : [ホールE]	①
WG2 : 「最新教育技術のトレンド, 実践事例研究」	: サザエ	: [研修室 1 A]	② : [ホールC]	②
WG3 : 「要求変更の要因分析」	: 塩辛	: [和室 2]	③ : [ホールF]	③
WG4 : 「ソフトウェアと社会」	: マグロ	: [研修室 6]	④ : [研修室 6]	④
WG5 : 「ソフトウェア保守の全ては人生から学んだ? いや逆だ (仮)」	: サザエ	: [ホールA]	⑤ : [研修室 1 A]	⑤
WG6 : 「ソフトウェアエンジニアリングの遺言」	: 塩辛	: [ホールB]	⑥ : [研修室 1 B]	⑥
WG7 : 「形式手法の最新技術と産業界での適用」	: サザエ	: [研修室 2]	⑦ : [研修室 2]	⑦
WG8 : 「D-Case の実践」	: サザエ	: [ホールC]	⑧ : [ホールA]	⑧
WG9 : 「IT 現場力の計測と活用」	: マグロ	: [研修室 5]	⑨ : [研修室 5]	⑨
WG10: 「システム開発文書品質」	: マグロ	: [研修室 1 B]	⑩ : [ホールD]	⑩
WG11: 「ソフトウェア品質技術」	: サザエ	: [ホールD]	⑪ : [ホールB]	⑪
WG12: 「テストのイノベーション」	: サザエ	: [研修室 3]	⑫ : [研修室 3]	⑫

ワーキンググループ 2日目 (複数のワーキンググループでの議論)

WG	2日目	
WG1 : 「派生開発への取り組み」 × WG12: 「テストのイノベーション」	: [研修室 2]	(A)
WG2 : 「最新教育技術のトレンド, 実践事例研究」 × WG8 : 「D-Case の実践」	: [研修室 3]	(B)
WG3 : 「要求変更の要因分析」 × WG11: 「ソフトウェア品質技術」	: [研修室 6]	(C)
WG4 : 「ソフトウェアと社会」 × WG9 : 「IT 現場力の計測と活用」	: [ホールA]	(D)
WG5 : 「ソフトウェア保守の全ては人生から学んだ? いや逆だ (仮)」	: [研修室 1]	(E)
× WG7 : 「形式手法の最新技術と産業界での適用」		
WG6: 「ソフトウェアエンジニアリングの遺言」 × WG10: 「システム開発文書品質」	: [研修室 5]	(F)

会場案内



情報交換会の会場へのご移動について

情報交換会は19:00より「無限堂 大町本店」で行います。

18:30 までにはWGを終了して、ご移動ください。
席順については、受付時に決まったテーブル（A～O）にご着席ください。
名札をおつけください。

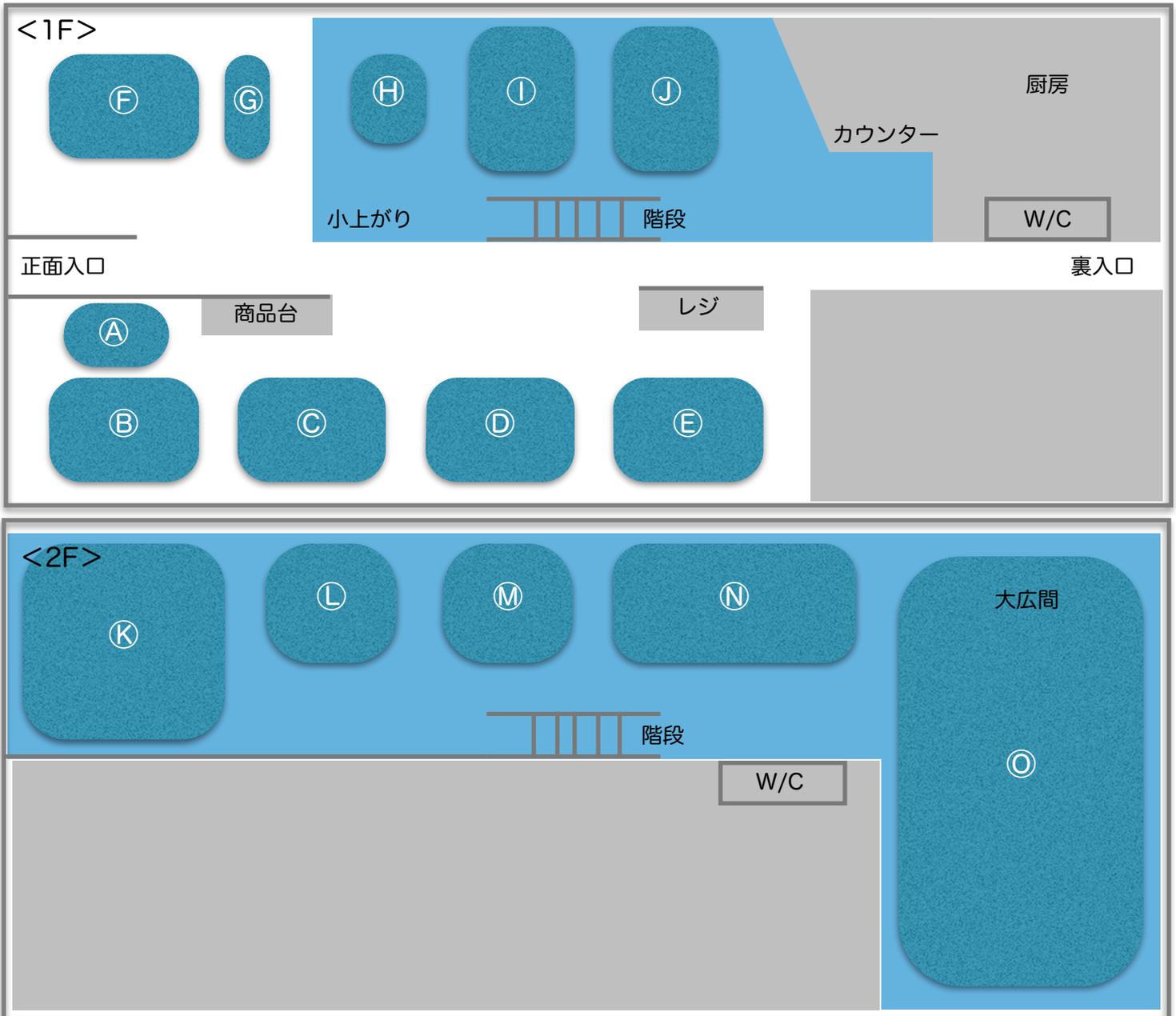
<無限堂 大町本店>

<http://www.mugendo.jp/dining/ohmachi.html>

※”秋田駅前店”ではなく”大町本店（大町店）”ですので、ご注意ください。



情報交換会の席順マップ（無限堂 店内）



最新情報について

SS2014の最新情報は、随時Webページに掲載いたします。
公式ページの「新着情報」をご覧ください。

<http://sea.jp/ss2014/news.html>

公益財団法人 秋田観光コンベンション協会さまには、
シンポジウムの開催に多大なご支援をいただいております。
ご協力に感謝いたします。

<http://www.acvb.or.jp/>